

2021年度海外留学促進奨学金 チャレンジ型・アクティブ型 募集要項

1. 目的、該当プログラム、期間

タイプ	チャレンジ型	アクティブ型
目的	語学研修、ボランティア活動、インターンシップ活動、ホームステイ等を通し語学力及びコミュニケーション能力向上を図ると共に、異文化への理解を深め、国際社会に適応する基礎的な力を養うことを目的とする。	1 セメスター以上の正規の留学又はそれに準じるプログラムで高次元な語学能力の修得及び外国語で専門科目を修得することを目的とする。
該当プログラム	国際教育センターが企画するプログラム又は学部、大学院若しくは本学指定留学支援団体が企画し、国際教育センターが承認した以下のプログラム。 (1) 語学セミナー（研修） (2) 海外ボランティア又は海外インターンシップ（短期） (3) 協定校等主催プログラム (4) 学部等が主催するスタディツアー、専門研修、研究等 (5) 留学支援団体主催プログラム ※国際教育センターWebサイト「 海外留学促進奨学金対象プログラム一覧 」を参照すること。	(1) 東洋大学協定校語学留学 (2) 東洋大学指定の海外ボランティア、海外インターンシッププログラム（長期）
期間	<u>現地活動日数が10日間以上、かつ現地活動時間が70時間以上</u> のプログラム。	春学期若しくは秋学期いずれかの1学期間又は1学年間。

2. 受給条件

- 出願時において本学の学部又は大学院に在学する学生で、指定年月日以降（夏出発:2020年5月31日以降、春出発:2020年11月22日以降）に別表記載の語学試験のいずれかを受験していること。学期中に参加するプログラムの場合、出願時より遡って1年間のスコアが有効。
- 国際教育センターが実施する、事前研修へ参加すること。
- 研修中は滞りなくプログラムに参加すること。 研修報告書類を含む必要書類を提出すること。
- 帰国後国際教育センターが指定する語学試験を受験すること。（英語試験スコアによる出願者のみ）
- 出願手続きや帰国後の提出物において、定められた期日等を厳守すること。

3. 語学試験のスコア基準

国際教育センターWebサイト内の「[語学基準及び受給額一覧](#)」を参照すること。

※対象となる語学試験は、英語圏への留学生は英語、非英語圏への留学生は現地での学修上求められる言語を対象とする。

4. 奨学の出願から受給まで

(1) 出願

- 出願期間

出発時期	【チャレンジ型】2021年夏季休暇中 【アクティブ型】2021年8月～2022年1月	【チャレンジ型】2022年春季休暇中 【アクティブ型】2022年2月～7月
出願期間	2021年6月1日（火）～7月19日（月）	2021年12月1日（水）～2022年1月14日（金）

- ・出願締め切り日までに**受験した**語学試験スコアが有効となります。

※学部・研究科主催の海外研修等で学期中に実施されるプログラムに参加する場合は、出発日の2週間前までに出願を完了する必要があります。

□出願方法 ※上記出願期間中に以下①と②を完了する。



① オンライン登録（出願期間中に以下 URL の Web サイトへリンクを掲載）

https://www.toyo.ac.jp/international-exchange/ies/ryugaku_prep/scholarship/international-scholarships/

※@toyo.jp のアカウントにログインの上、オンライン登録を開始すること。複数の Google アカウントを持っている場合は全てのアカウントからログアウトした後、@toyo.jp のアカウントにログインすること。

※銀行口座については、必ず**本人名義**の口座情報を正確に登録すること。

以下の a~c 点についてアップロードすること。

a. **願書**（国際教育センターWeb サイトよりダウンロード）

※**語学スコア**(夏季出願 2020年5月31日以降、春期出願：2020年11月22日以降)に受験した語学試験のスコア・合格証明書を貼付のこと。出願期間中に受験したものでスコアレポートが出願締め切り日までに入手できない場合のみ、スコアレポートは後日提出も可。（願書は期限までに提出すること）

スコアレポート後日提出締切：夏季出願は 8月20日消印有効、春季出願は 2022年2月8日消印有効とする。期日までにスコアレポートの提出がなければ出願は無効となります。

学期中に参加するプログラムの場合、出願時より遡って1年の間に受験したテストのスコアが有効。

※**語学スコア**は、ToyoNet-ACE 上で閲覧できるスコアの利用も可能。**氏名、スコア、受験日**がわかるように印刷し提出すること。有効期間内にオンラインで開示された成績による仮提出も可能。ただし、その場合はスコア・合格証明書を入手次第、追加で提出すること。

※公式スコアとして認定されていないオンライン試験のスコアでは申請できません。

例：TOEIC L&R IP オンライン受験、TOEFL ITP デジタル、IELTS Indicator

※保有しているスコアが対象となるか分からない場合は、必ず事前に国際教育センターに確認してください。

※**出願書を写真に撮るか PDF にスキャンして、データをフォームより提出。**

b. **参加決定通知書**（チャレンジ型「留学支援団体主催プログラム」参加者のみ）

参加決定通知書は、次の情報全てを含んだものであること。

- | | | | |
|-------------------------------|---------------------------------|---|-------------------------------------|
| <input type="checkbox"/> 参加者名 | <input type="checkbox"/> プログラム名 | <input type="checkbox"/> 現地でのプログラム期間（現地開始日および現地終了日） | |
| <input type="checkbox"/> 参加費 | <input type="checkbox"/> 発行年月日 | <input type="checkbox"/> 発行機関名 | <input type="checkbox"/> 会社印または担当者印 |

c. **海外旅行保険への加入が確認できる書類**（チャレンジ型「留学支援団体主催プログラム」参加者のみ）

- ・保険証券コピー等
- ・傷害死亡保障1千万円以上を含むプランに加入すること。

オンライン出願後（@toyo.jp）にメールまたは ToyoNet-ACE にて送られる**出願受付書**を必ず確認すること。願書等申請の不備の有無も確認。

②願書の提出（オンライン登録時にアップロードした願書の原本を提出する）

◆提出先（原則として国際教育センターに郵送）

郵送先：〒112-8606 東京都文京区白山 5-28-20

東洋大学国際教育センター「チャレンジ型（又はアクティブ型）奨学金」係（出願締切日消印有効）

※国際教育センター窓口時間内に提出も可

③追加書類の提出（チャレンジ型のみ）（出発前までに ToyoNet-ACE に提出）

参加プログラム毎に追加書類が異なります。出願受付書で追加書類の有無・種類を確認し提出してください。

◆追加書類一覧

a. 渡航スケジュール届 *対象：学外プログラム参加者および一部の学内プログラム参加者

b. 滞在先届 *対象：学外プログラム参加者および一部の学内プログラム参加者

c. 参加費内訳 *対象：チャレンジ型奨学金において奨学金受給額がプログラム参加費を上回る学生
および一部の学内プログラム参加者

(2) 事前研修

研修が集合で行われる場合は、時間・場所について東洋大学内の要項掲載ページに後日掲載する。

事前研修・オリエンテーションにやむを得ず参加できない場合は、後日 ToyoNet-ACE に配信される動画を出発前に視聴し、出発前までにレポート提出すること。

(3) 帰国後提出書類および語学試験受験

タイプ	チャレンジ型		アクティブ型	
	夏季	春季	2021年8月～2022年1月	2022年2月～7月
出発時期	2021年9月20日（月） 授業期間内に出発・帰国 する場合は帰国後2週間 以内	2022年3月21日（火） 授業期間内に出発・帰国 する場合は帰国後2週間 以内	帰国後2週間以内。 ただし帰国が3月の場合は、2022年3月21日 （火）	
提出物	①留学レポート：出願受付後 ToyoNet-ACE で詳細を案内 ②修了証明書または成績表			
提出方法	①オンラインで提出 ②ToyoNet-ACE 上でデータ提出			
語学試験 受験日	下記の中から1回受験。 ・TOEFL ITP 9月26日（白山） ・TOEIC L&R（IP） 10月3日（白山）	下記の中から1回受験。 ・TOEFL ITP 2022年4月（未定） ・TOEIC L&R（IP） 2022年5月（未定）	帰国の時期に合わせて、個別に案内します。	
オンライン登録時に語学試験の受験日を選択（チャレンジ型）。受験料は無料。上記試験日での受験が難しい場合は、原則として帰国日より半年以内に別日程で行われる学部実施の試験受験、または自己負担による外部試験受験も可。				

(4) 奨学金の受給

□原則、研修報告書類が提出された翌月に、出願時にオンライン登録した口座へ銀行振り込み。

□プログラム参加費が奨学金受給額を下回る場合は、プログラム参加費を上限として、奨学金を給付（チャレンジ型）。

※研修報告書類が未提出、コースを未修、成績不良、出席率が低い等の場合は、奨学金の受給は不可。

5. 特記事項・注意事項

- 東洋トップグローバル奨学金A・B、塩川正十郎奨学金との併給は不可。東洋トップグローバル奨学金C、日本学生支援機構（JASSO）第I種・第II種、東洋大学協定校語学留学奨学金とは併給可。
- 日本学生支援機構（JASSO）海外留学支援制度奨学金については原則可（プログラム毎の制限あり）。但し、「チャレンジ型」申請者でJASSO海外留学支援制度奨学金を受給している場合は、両奨学金の合計額がプログラム費用を超えないよう「チャレンジ型」奨学金の費用を調整する。
- 本奨学金の受給は、在籍期間中に合計2回までとし、チャレンジ型及びアクティブ型の受給は、単年度にいずれか1回とする。（2017年度以降適用。2016年度以前に受給した奨学金は支給回数に含まれない）
- 2回目の出願に際しては、語学基準が1回目より1ランク以上上がっていることを条件とする。但し、1回目と2回目とで基準となる言語が異なる場合は、この限りではない。語学基準のランクについては、国際教育センターWebサイト「語学基準及び受給額一覧」等で確認すること。
- 下記奨学金を受給した学生は、それ以降本奨学金を受給することはできない（一部のプログラムを除く）
 - ・交換留学奨学金 ・認定留学奨学金 ・グローバル・イノベーション学科奨学金
 - ・海外留学促進奨学金（グローバルリーダー型またはトップ大学型）
- 留学中の学修言語が学生の出身国公用語の場合は、原則本奨学金には出願できない。
- 学外団体主催のプログラムに参加する場合は、プログラム期間の前後に私用での滞在をすることはできません。私用で滞在期間を延長する場合は、奨学金受給対象にはなりません。

新型コロナウイルスの影響で、主催団体・企業にてプログラムが実施されても、東洋大学が下記の理由により、渡航の禁止を要請する場合、参加が決まっても奨学金の受給対象とはなりません。また、渡航後に留学中止が勧告された場合は、その時点で速やかに帰国して頂きます。そして、留学中止に伴うキャンセル料などの経費は、すべて学生負担となりますので、十分にご注意ください。

*東洋大学による渡航禁止判断基準（以下の基準に基づき総合的に渡航可否を判断します。）

【判断基準】

- ・ 外務省危険情報／感染症危険情報のレベルが2以上か否か
- ・ 派遣先国での新型コロナウイルス感染終息の動き（※2）の有無
 - ※2 感染者数の減少傾向、入出国規制の緩和など
- ・ 派遣先機関での対面によるプログラム開講等が確定しているか否か

6. 問い合わせ先等

東洋大学国際教育センター（白山キャンパス8号館1階）

〔住所〕 〒112-8606 東京都文京区白山5-28-20

〔電話〕 03-3945-8794 〔Email〕 mlipo-shogaku@toyo.jp